

子どもたちが来館・鑑賞しやすい環境整備および事業の発信

●利用者への広報活動

○練馬区立美術館 記録冊子「トコトコ10年」

未就学児とその保護者向けに10年間行ってきた鑑賞プログラム「トコトコ美術館」の記録集です。プログラムの進行方法から10年分の開催記録、保護者のアンケート紹介や担当者のテキストまでを収録しました。



○保護者向け鑑賞ガイド

館内で来館者が自由に手に取れるほか、区内の幼稚園・保育園・小学校などに配布しました。



●教育普及活動ツール

○所蔵品カード

ちひろ美術館の所蔵品カードを増刷し、授業で活用していただけるよう、区内の小中学校などへ貸し出しを開始しました。実際に行われた授業では、所蔵品カードを手がかりに、作品から感じたこと、発見したことを子どもたちが自由に表現するようすが報告されています。



○ちひろ美術館 子どもガイド

子どもたちが作品や画家、美術館について親しむためのガイドを作成し、来館した子どもたちや区内の小中学校などに配布しました。



○美術館でのやくそく

館内に設置・配布。表面は、みんなが美術館を楽しむための約束ごとを掲載、裏面は鑑賞の思い出を記せるものとなりました。

実行委員会構成団体について

ちひろ美術館・東京 〒177-0042 東京都練馬区下石神井4-7-2 tel. 03-3995-0612 https://chihiro.jp https://www.facebook.com/chihiro.tokyo	練馬区立美術館 〒176-0021 東京都練馬区貫井1-36-16 tel. 03-3577-1821 http://www.neribun.or.jp/museum/ https://twitter.com/nerima_museum	特定非営利活動法人手をつなご 〒177-0045 東京都練馬区石神井台5-9-6 tel. 03-6767-2577 http://tewotsunago.ciao.jp/index.html
--	--	--

企画・制作：練馬におけるキッズフレンドリー・ミュージアム事業実行委員会
 協力：NPO法人赤ちゃんからのアートフレンドシップ協会 撮影：ちひろ美術館・東京、練馬区立美術館

2021年3月発行

練馬発！みんなのミュージアム事業

令和2年度 活動報告



「美術館に子連れで行っても大丈夫？」「子どもが退屈しそう」「なんだか敷居が高くて緊張する」という、子育て世代の方からの声をよく耳にします。

「練馬におけるキッズフレンドリー・ミュージアム事業実行委員会」では、平成28年度より、地域のみなさまに日常的に親しんでもらえる美術館であることを目指し、主に0歳～小中学生の子どもと保護者が訪れやすい環境づくりを行っています。

令和2（2020）年度は、平成31年度に続き「練馬発！みんなのミュージアム事業」を行ってまいりました。

この報告書をご覧になり、ぜひお気軽に美術館にお出かけください。

人生ではじめて訪れる美術館であり、みなさまの子育ての心の支えになるような「地域の美術館」になれば、うれしく思います。

練馬におけるキッズフレンドリー・ミュージアム事業実行委員会規約（抜粋）

目的：地域とともにある美術館同士と地域の子育て支援団体が協同し、それぞれのネットワークと各施設が持つ場所を最大限に活用しながら、地域の文化・芸術振興と、子育て支援の更なる充実を目指す。

- 事業：**
1. 親子を対象とする鑑賞教育活動。
 2. 子育てに悩む保護者をサポートする活動。
 3. 事業全体を広く周知するための包括的な印刷物の制作。
 4. その他、目的の達成に必要な活動。

親子のための鑑賞教育活動

美術の鑑賞なんて難しそう、と大人でも思ってしまっていないですか。あかちゃん（0歳）でも美術に親しむことができます。芸術との出会いは、子どもの感受性を刺激し、ことばや感情、知的興味などさまざまな発達に影響を与えてくれます。

ことばが話せなくても、足をバタバタさせたり、指さしたり……、作品を前にしたときの子どもの反応に注目すると、わが子の新しい一面を発見できます。絵について親子で会話したり、大人自身も新たな学びがあったり。親子で思い出に残るひとときを過ごしました。



●あかちゃんと家族の鑑賞会

2020年9月13日(日)・12月13日(日)

対象:0~2歳児と家族 参加者:36名 @練馬区立美術館



●鑑賞プログラム「トコトコ美術館」

2020年9月5日(土)・6日(日)・12月19日(土)・20日(日)・2021年3月13日(土)・14日(日)

対象:3~6歳の未就学児+保護者 参加者:123名 @練馬区立美術館

参加者の声

- ・子どもにもわかりやすい作品鑑賞でとても楽しめました。大きい作品づくりは家庭では難しいのでありがたいです。
- ・絵を家でどのように描いたらいいか悩みにも答えていただけて本当に感謝です。
- ・回を重ねるごとに子どもの興味が深くなっているようで親もとても楽しみです。これからも参加させていただきたいです。
- ・子どもがとても楽しみにしていたので参加できて大喜びでした。コロナの状況のなか、開催していただきありがとうございました。



●あかちゃん・子どものための鑑賞会(オンライン)

2020年12月20日(日) 対象:0歳児~小学生と保護者
参加者:32名 @ちひろ美術館・東京 (講師:富田めぐみ)

オンライン鑑賞会の参加者向けに配信した動画(親子で美術館に親しめるよう講師が館内と展示作品を紹介)を、イベント終了後に一般公開しました。



動画はYouTubeからご覧いただけます。



参加者の声

- ・作品の描かれた背景を説明していただいたうえで、どういったところに子どもが興味を持ちやすいかを先生、学芸員、参加者を通して知ることができた。
- ・月齢の違いや子どもの違いも知れ、親だけでも十分楽しめました。
- ・3歳児に鑑賞会はできるのかなと少々不安でしたが、子どもの行動を見守り、あたたかい声かけをしてくださったおかげで、子どもが自然に思ったことを話すのを見て、参加してよかったです。

保護者のための子育て支援活動

子育てに難しさを感じる保護者は少なくありません。子どもの感性を育てるとともに大人の子育てを力強く支えてくれる「わらべうたあそび」など、肩の力を抜いて「子育て」に向かい合えるようなプログラムを開催しました。



参加者の声

- ・想像以上に娘が楽しんでいて、とても良かったです。
- ・講師の雰囲気がとてもやさしく、子どもがなかなか集中しなかったが前向きになれた。オンラインなのに、インタラクティブなところがあり、時間は短くとも交流できたように感じた。このような状況のなか、こうしてオンラインでの参加方法を考えていただいてありがたいです。出歩くことが難しい分、本当にうれしいです。
- ・期待以上の満足度です。わらべうたはなかなか覚えられないのですが、何度も繰り返し歌っていただき、パンフレットもいただけたので、楽しみながら歌っていきたいです。

●わらべうたあそび(オンライン)

2020年12月12日(土)

対象:0~2歳児と保護者 参加者:18名
@ちひろ美術館・東京 (講師:服部雅子)

●絵本のじかん

2020年11月14日(土)

対象:子ども~大人 @ちひろ美術館・東京 (協力:ねりま子どもと本ネットワーク)